



平成24年 2 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年 7 月 8 日

上場会社名 株式会社 フェリシモ 上場取引所 東
コード番号 3396 URL <http://www.felissimo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢崎 和彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートスタッフ (氏名) 大井 実 (TEL) 078-325-5555
四半期報告書提出予定日 平成23年 7 月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年 2 月期第 1 四半期の連結業績（平成23年 3 月 1 日～平成23年 5 月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年 2 月期第 1 四半期	11,059	3.5	474	—	508	—	493	—
23年 2 月期第 1 四半期	10,683	△12.4	△72	—	△12	—	△29	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年 2 月期第 1 四半期	49	99	—	—
23年 2 月期第 1 四半期	△3	02	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
24年 2 月期第 1 四半期	41,481		26,045		62.8		2,640	73
23年 2 月期	42,064		25,858		61.5		2,621	76

(参考) 自己資本 24年 2 月期第 1 四半期 26,045百万円 23年 2 月期 25,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末		第 2 四半期末		合計
	円	銭	円	銭	円 銭
23年 2 月期	—	—	0	00	30 00
24年 2 月期	—	—	—	—	—
24年 2 月期（予想）	—	—	0	00	30 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年 2 月期の連結業績予想（平成23年 3 月 1 日～平成24年 2 月29日）

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第 2 四半期（累計）	22,137	0.4	533	385.9	591	215.0	518	671.6	52	60
通期	46,865	2.6	1,166	34.0	1,267	28.3	826	58.9	83	83

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年2月期1Q	10,043,500株	23年2月期	10,043,500株
24年2月期1Q	180,306株	23年2月期	180,306株
24年2月期1Q	9,863,194株	23年2月期1Q	9,863,321株

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

当資料に記載の業績見通しは、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向の他、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関しては【添付資料】P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
仕入及び販売の状況	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成23年3月1日～平成23年5月31日）におけるわが国の経済は、政府による経済対策の実施や海外経済の改善による輸出や生産の持ち直し等で、景気の回復基調がみられました。しかしながら、3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方等を中心に甚大な被害をもたらしました。これらが経済におよぼす影響は、電力不足やサプライチェーンの崩壊などによる生産活動の停滞や、それに伴う輸出の減少という直接的な影響だけでなく、消費マインドの悪化等、国内景気において、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループにおきましては、前期に引き続き、「顧客との長期的な関係構築」、「1000万人で未来を変える」プロジェクト、「新事業モデルの開発」、「コレクション事業モデルの強化」等を推し進めてまいりました。

特に主力事業である「コレクション事業」におきましては、前期末から投入したキャラクターファッションブランドを始め、婦人衣料品の強化に努めてまいりました。中でも20代後半から30代の女性向けファッションカタログ『iedit（イディット）』、上質な日常着を提案する『SUNNY CLOUDS（サニークラウド）』、40代の女性向けファッションカタログ『andMyera（アンドマイラ）』等が好調に受注を獲得しました。

顧客との長期的な関係構築については、「長期予約・お届け型商品」の開発に注力し、5月現在で約17.8万口と、前年同期からは約2万口の増加となりました。

顧客数に関しては、Web・モバイルからの獲得やダイレクトメールからの獲得は、前年同期より増加しました。しかし、期首顧客数が前年に比べ減少したことに加え、東日本大震災の影響を受け、東北地方や一部の東日本地区で顧客数が減少しました。また、3月・4月については、全国的に顧客獲得活動を控えたこともあり、延べ顧客数は若干減少しました。

顧客の購入単価については、婦人衣料品の開発、販売を強化したことにより、商品単価・平均購入口数とも増加し、一件当たりの購入単価は前年同期に比べ増加しました。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、11,059百万円（前年同期比3.5%増）となりました。比較的原価率の低い衣料品の売上構成比が増加したことと、値引きを抑えたことで、原価率が改善され、返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は、5,864百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

売上高を品目別にみますと、服飾・服飾雑貨分野では、前述したように婦人衣料品が好調で前年同期に比べ、増加しました。またアクセサリ等の身の回り品についても前年同期を上回りました。生活関連分野では、環境配慮型生活用品を扱った『ecolor（エコラ）』は売上げを伸ばしましたが、500色の色えんぴつのお届け完了により、余暇関連商品の売上高が減少したことで、生活関連全体では若干前年同期を下回りました。

販売費及び一般管理費につきましては、東日本大震災の影響で一部広告出稿を控えたこと等で広告費が前年同期に比べ減少したこと、減価償却が進んだこと及びリース契約の終了等で設備費が減少しました。その結果、販売費及び一般管理費は5,390百万円（前年同期比4.8%減）となり、営業利益は474百万円（前年同期は営業損失72百万円）となりました。

営業外損益では、受取利息等の営業外収益が34百万円となり、経常利益は508百万円（前年同期は経常損失12百万円）となりました。連結子会社であるFelissimo Universal Corporation of Americaが所有する固定資産の売却による特別利益389百万円を計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は881百万円（前年同期は税金等調整前四半期純損失30百万円）、四半期純利益は493百万円（前年同期は四半期純損失29百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の増加に対し、売掛金の減少及び連結子会社Felissimo Universal Corporation of Americaの所有する不動産売却による投資その他の資産の減少等により、前連結会計年度末に比べて582百万円減少し、41,481百万円となりました。負債は、仕入債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて769百万円減少し、15,435百万円となりました。純資産は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて187百万円増加し、26,045百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて69百万円減少し、13,504百万円となりました。

営業活動の結果減少した資金は549百万円（前年同期は459百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益881百万円の計上に対し、たな卸資産の増加507百万円及び仕入債務の減少1,012百万円となったこと等によるものであります。

投資活動の結果増加した資金は770百万円（前年同期は639百万円の減少）となりました。これは主に基幹システムへの投資を実施したこと等により無形固定資産の取得による支出が311百万円となったのに対し、連結子会社 Felissimo Universal Corporation of Americaの所有する不動産売却により投資不動産の売却による収入が1,100百万円となったことによるものであります。

財務活動の結果減少した資金は275百万円（前年同期は282百万円の減少）となりました。これは主に配当金の支払による支出274百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましても、夏場の電力不足による生産活動の停滞など、東日本大震災の影響はしばらくは続くものと考えられ、これらが心理的に消費に影響を及ぼす等、国内景気において不透明な状況が続くものと思われます。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き衣料品の開発、販売を強化していくことで、顧客単価を維持することと、顧客とのさらなる長期的関係性の強化、新事業での売上拡大等を推進してまいります。

当第1四半期連結会計期間の業績及び現在進行中の第2四半期の状況から、第2四半期連結累計期間の業績予想は、売上高22,137百万円、営業利益533百万円、経常利益591百万円、四半期純利益518百万円に、通期の業績予想は、売上高46,865百万円、営業利益1,166百万円、経常利益1,267百万円、当期純利益826百万円に上方修正しております。詳細につきましては、本日（平成23年7月8日）開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

② 繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められる場合には、前連結会計年度末において採用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計方針の変更

(資産除去債務に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は0百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は14百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は18百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成23年 5 月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年 2 月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,874	11,884
売掛金	4,355	4,626
有価証券	1,609	1,605
信託受益権	2,199	2,244
商品	5,149	4,639
貯蔵品	213	212
その他	1,033	1,029
貸倒引当金	△64	△69
流動資産合計	26,370	26,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,146	2,183
土地	3,984	3,984
その他（純額）	845	892
有形固定資産合計	6,976	7,060
無形固定資産	4,408	4,386
投資その他の資産		
投資有価証券	2,336	2,332
その他	1,442	2,168
貸倒引当金	△53	△58
投資その他の資産合計	3,725	4,442
固定資産合計	15,110	15,889
資産合計	41,481	42,064
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,203	2,045
支払信託	7,329	8,494
未払法人税等	426	377
販売促進引当金	326	333
その他の引当金	478	373
その他	2,195	2,129
流動負債合計	12,959	13,753
固定負債		
退職給付引当金	2,111	2,091
その他	364	360
固定負債合計	2,476	2,452
負債合計	15,435	16,205

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,842	4,842
利益剰余金	20,278	20,081
自己株式	△385	△385
株主資本合計	26,603	26,406
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3	2
繰延ヘッジ損益	△10	△4
為替換算調整勘定	△550	△545
評価・換算差額等合計	△557	△547
純資産合計	26,045	25,858
負債純資産合計	41,481	42,064

(2) 四半期連結損益計算書
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 5 月31日)
売上高	10,683	11,059
売上原価	5,116	5,210
売上総利益	5,567	5,849
返品調整引当金戻入額	185	181
返品調整引当金繰入額	165	167
差引売上総利益	5,587	5,864
販売費及び一般管理費	5,659	5,390
営業利益又は営業損失 (△)	△72	474
営業外収益		
受取利息	9	8
為替差益	12	1
受取補償金	16	5
その他	22	18
営業外収益合計	60	34
営業外費用		
支払利息	0	—
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常利益又は経常損失 (△)	△12	508
特別利益		
固定資産売却益	—	389
貸倒引当金戻入額	0	0
特別利益合計	0	389
特別損失		
固定資産除却損	18	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	14
特別損失合計	18	16
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△30	881
法人税、住民税及び事業税	39	420
法人税等調整額	△40	△32
法人税等合計	△0	388
少数株主損益調整前四半期純利益	—	493
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△29	493

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 5 月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△30	881
減価償却費	382	332
引当金の増減額 (△は減少)	110	109
受取利息及び受取配当金	△9	△8
売上債権の増減額 (△は増加)	1,048	273
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△299	△507
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,150	△1,012
未払金の増減額 (△は減少)	△357	△28
その他	43	△254
小計	△262	△214
利息及び配当金の受取額	21	19
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△218	△355
営業活動によるキャッシュ・フロー	△459	△549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	750	750
有形固定資産の取得による支出	△19	△13
無形固定資産の取得による支出	△561	△311
投資有価証券の取得による支出	△762	△761
投資不動産の売却による収入	—	1,100
その他	△45	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△639	770
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8	△1
配当金の支払額	△273	△274
財務活動によるキャッシュ・フロー	△282	△275
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△14
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,373	△69
現金及び現金同等物の期首残高	14,251	13,574
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,878	13,504

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

仕入及び販売の状況

(1) 商品仕入実績

品 目	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年 5 月31日)		当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 5 月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
服飾・服飾雑貨	3,792	70.0	4,025	70.4
生活関連	1,437	26.5	1,416	24.8
その他	191	3.5	276	4.8
合計	5,421	100.0	5,717	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

品 目	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年 5 月31日)		当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 5 月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
服飾・服飾雑貨	7,533	70.5	7,947	71.9
生活関連	2,913	27.3	2,856	25.8
その他	236	2.2	256	2.3
合計	10,683	100.0	11,059	100.0

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。